

# 1 校内研修計画

## 研究主題 自ら考え、対話し、共に学びあう生徒の育成

～個別最適な学びと協働的な学びの授業づくり～

### 1 研究主題設定の理由

令和元年度まで、学校全体で授業改善やインクルーシブ教育のシステム構築の視点を取り入れた研究を進めてきた。しかしコロナ禍の中始まった令和2年度には、これまで研究してきた学習形態が大きく変わった。そこで新しく、対象と自分、他者と自分をつなぎながら、生徒が自分の考えを練り上げていく（つむぐ）授業を「思考の引き出し」を活用して研究を行った。研究を進める中で、「思考の引き出し」を使うことで生徒の考える視点が明確になり、学びに取り組みやすくなる成果があった。

本校の課題の一つである話し合い活動では、県の学習状況調査の、「普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていますか。」という質問では、82%が肯定的な回答をしており、県平均を上回る結果となった。これは、話し合い活動に力を入れて取り組んできた成果と言える。一方で、「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫している。」という質問では、肯定的な回答が54%と低く、話し合いへの抵抗が減ってきている今、話し合いのレベルアップのための指導が必要になると考えている。また、「授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができますか。」という質問では55%、「授業では、解決方法、解決時間などを自分で選んだり決めたりしていますか。」という質問では50%と肯定的な回答が少ない傾向がある。以上のことから、話し合い活動への指導は継続しながら、生徒自身が自己選択・自己決定する場を設定することで、主体的・対話的な授業づくりにつながるのではないかと考えている。

本年度は、これまでの研究を継続するとともに、自己選択・自己決定の場を設定することで主体的、対話的な授業を行っていききたい。そのために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の二つの柱を単元構成の中で意識的に取り入れていくようにする。一つ目は、一人一人が主体的に課題を追求する時間を創出することである。教師が話しすぎるのではなく、生徒が考える時間を確保したい。（「個別最適な学び」）二つ目の柱は、ペアやグループで異なる考え方を組み合わせることである。（「協働的な学び」）ICTについては、昨年からの研究をもとに、一人一台のノートパソコンを活用し、自分で「わかる」「できる」を実感したり、QubenaやGoogle classroom, Meta mojiを使って、グループワークや、主体的に学習に取り組む生徒の育成の支援のために活用していききたい。

### 2 研究内容及び方法

研究主題に関わる研究の柱は以下の通りである。

#### ○ 生徒が自己選択・自己決定できる、主体的・対話的な授業

- (1) 生徒が自己選択・自己決定できる、主体的・対話的な授業づくりのために全学年、全教科で取り組んでいく。そのため、以下の4点に留意する。

#### Check 1 学びがいのある学習課題にする。

- ① 自分事になる学習課題を設定する。

深く考え、自ら解決したくなる、集団で解決する必要がある生徒に適した学習課題を設定する。

- ② 見通しをもつ活動を充実する。

生徒一人一人が学習の目的やゴールを明確にし、解決に向けた見通しをもつことができるようにする。

#### Check 2 自己選択・自己決定のある学習にする。

- ① 学びに関する選択肢を示し、一人一人が自分の状況に応じて、課題解決に取り組むことができる学習環境を整える。

学習教材 解決方法 表現方法 道具 学習形態 学ぶスペース etc

- ② 何をどこまで委ねるかを見極め、見取ったことをフィードバックする。

### Check 3 必要感のある協働的な学びの場をつくる

- 生徒同士の交流によって学びが深まるように、支援する。
  - ・ 目的に合ったグループの設定や活動方法の仕方を考える。
  - ・ 生徒が話し合い活動が必要とする機会での交流と効果的な活動ができる時間の設定を行う。
  - ・ 主体的に話し合い活動を行うために、「問い返し」のある応答をする交流への助言を行う。

### Check 4 意味のある振り返りにする。

- 振り返りの視点から、自分の学びを価値付ける場を設ける。  
学習内容 学習過程（学び方） 自己の変容・課題の発見

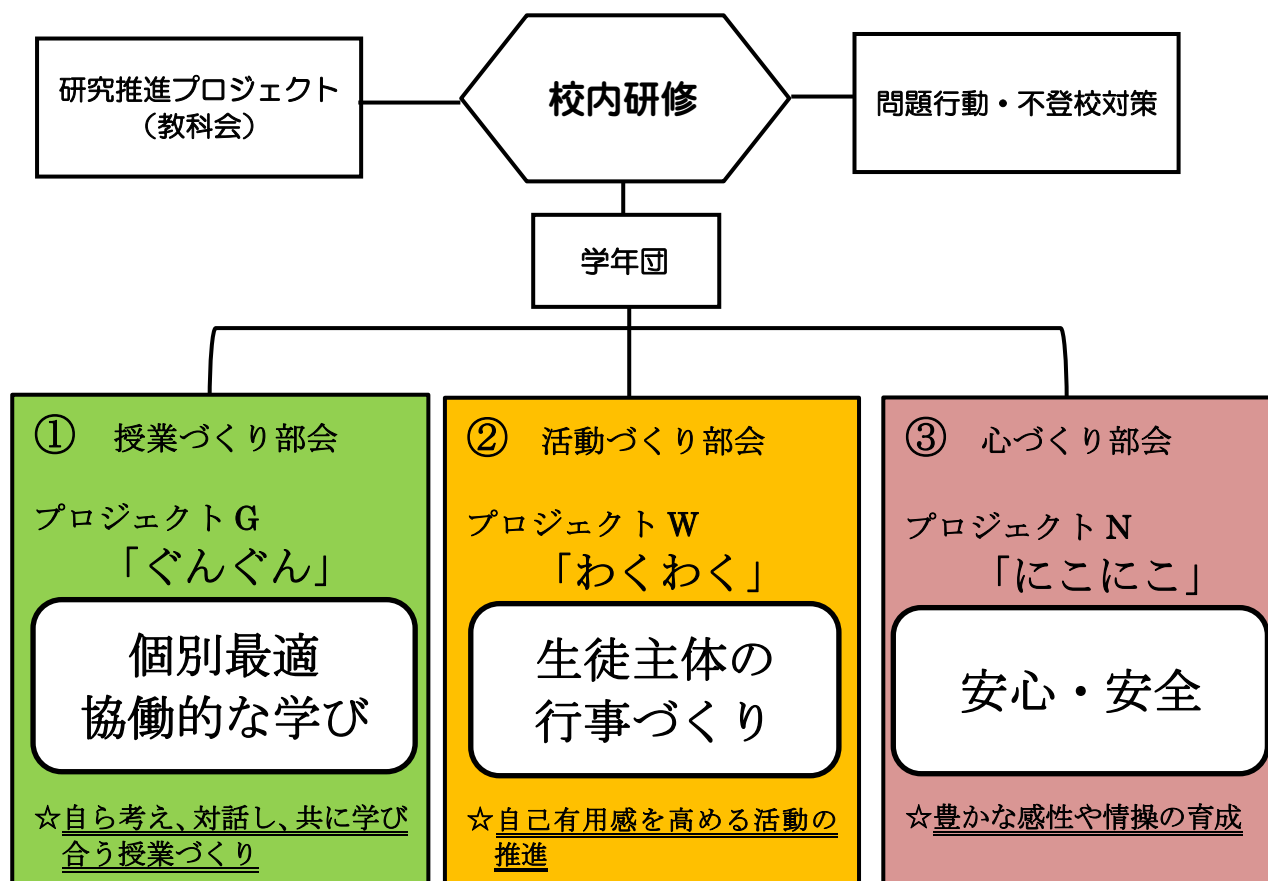
(2) (1)の内容をより充実させるために下記のことを行う。

- ① 各教科で考える個別最適・協働的な学びの実践を年間を通して意識して授業を行う。また、各教科での取組を発表する場を設ける。
- ② 若年同士による授業参観及び授業討議を学期に1回行う。
- ③ 一人一台タブレットの活用の充実を図るため、パソコン研修を行い、教員の意識や技能を高める。
- ④ 自分事として話し合うための土台作りの場として「哲学対話」を用いる。(週1回程度)

## 3 具体的な研究方法

### (1) 研究組織

研究組織として、下記のグループに分かれて校内研修を進める。



## (2) 研修計画

| 時期   | 内 容                                                                                                                                                   | 備考                          |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 4 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（研究内容の共通理解と ICT についての研修）</li> <li>・ 教科部会（決めごと・Qubena）</li> <li>・ 3 部会（取り組み・目標決め） ・ 若年研（基礎・基本）</li> </ul> | 全国学力・学習状況調査                 |
| 5 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（個別の教育支援計画）</li> <li>・ 若年研修（運動会・生徒指導）</li> </ul>                                                         | 三観中研<br>中間テスト               |
| 6 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（教育相談）</li> <li>・ 若年研（授業・討議）</li> </ul>                                                                  | 修学旅行<br>五色台宿泊学習<br>期末テスト    |
| 7 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（人権・同和） ・ 若年研（1 学期課題共有）</li> <li>・ 教科部会（指導案検討①・振り返り・まとめ）</li> </ul>                                      | 授業アンケート<br>保護者アンケート         |
| 8 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（指導案検討②） ・ 若年研（道徳）</li> <li>・ 教科部会</li> </ul>                                                            |                             |
| 9 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（道徳） ・ 3 部会（振り返り・取り組み決め）</li> <li>・ 若年研（合唱コンクール）</li> </ul>                                              | <u>要請による学校訪問</u><br>中間テスト   |
| 10 月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（学校保健）</li> <li>・ 若年研（授業・討議）</li> </ul>                                                                  | 合唱コンクール<br>三観中研（教科）         |
| 11 月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体研修（人権・同和教育）</li> </ul>                                                                                     | 期末テスト                       |
| 12 月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年研（2 学期課題共有） ・ 3 部会（振り返り・まとめ）</li> </ul>                                                                    | 人権集会<br>授業アンケート<br>保護者アンケート |
| 1 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年研（授業・討議）</li> </ul>                                                                                        |                             |
| 2 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年研（課題共有・振り返り）</li> </ul>                                                                                    | 学年末テスト                      |
| 3 月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の研究テーマ、共通実践の提案</li> <li>・ 県学習状況調査結果分析を踏まえた改善及び次年度構想</li> </ul>                                             |                             |